

ダイジェスト版

# 目指せ、公認会計士！ ～会計なくして経済なし～

栃木県立宇都宮商業高等学校

2015年11月19日

公認会計士・監査審査会  
常勤委員 廣本 敏郎

# 公認会計士の世界 3つのキーワード

# I. 公認会計士とは？ ——“監査”及び“会計”の専門家

## 公認会計士の 使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

## 会計なくして 経済なし

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

**GLOBAL**

金融・資本市場のグローバル化、  
企業の海外展開等に伴い、  
活動のフィールドは世界に広がっています。

グローバル経営戦略の策定  
海外子会社を含むグループ決算

**公認会計士**  
Certified Public Accountant  
(CPA)

**PROFESSIONAL**

監査・会計の専門家として、  
高度な専門知識を活かし、  
多様なニーズに応じて専門的な視点から  
助言・指導を行っています。

株式公開支援・M&A・組織再編

※このほか、税理士として登録を行うことにより、  
税務業務を行うことができます。

**MISSION**

資本市場の番人として、  
企業等の財務情報の  
信頼性を確保し、  
投資家等を保護しています。

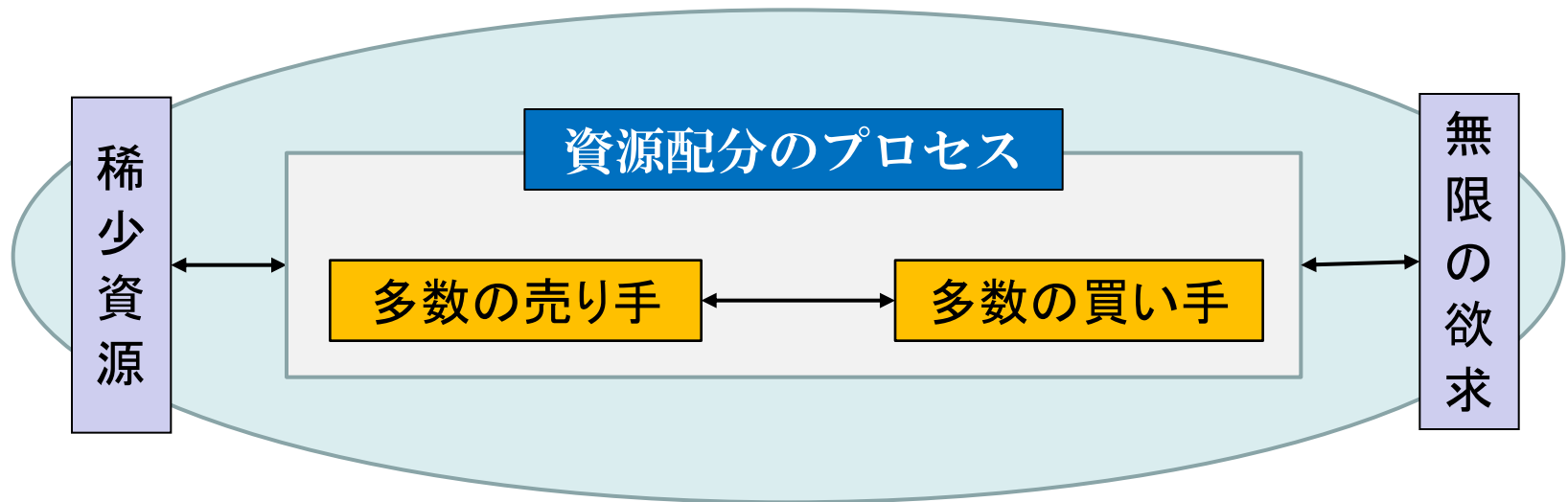
企業が作成する決算書の検証

---

会計なくして経済なし  
市場経済を支える簿記会計

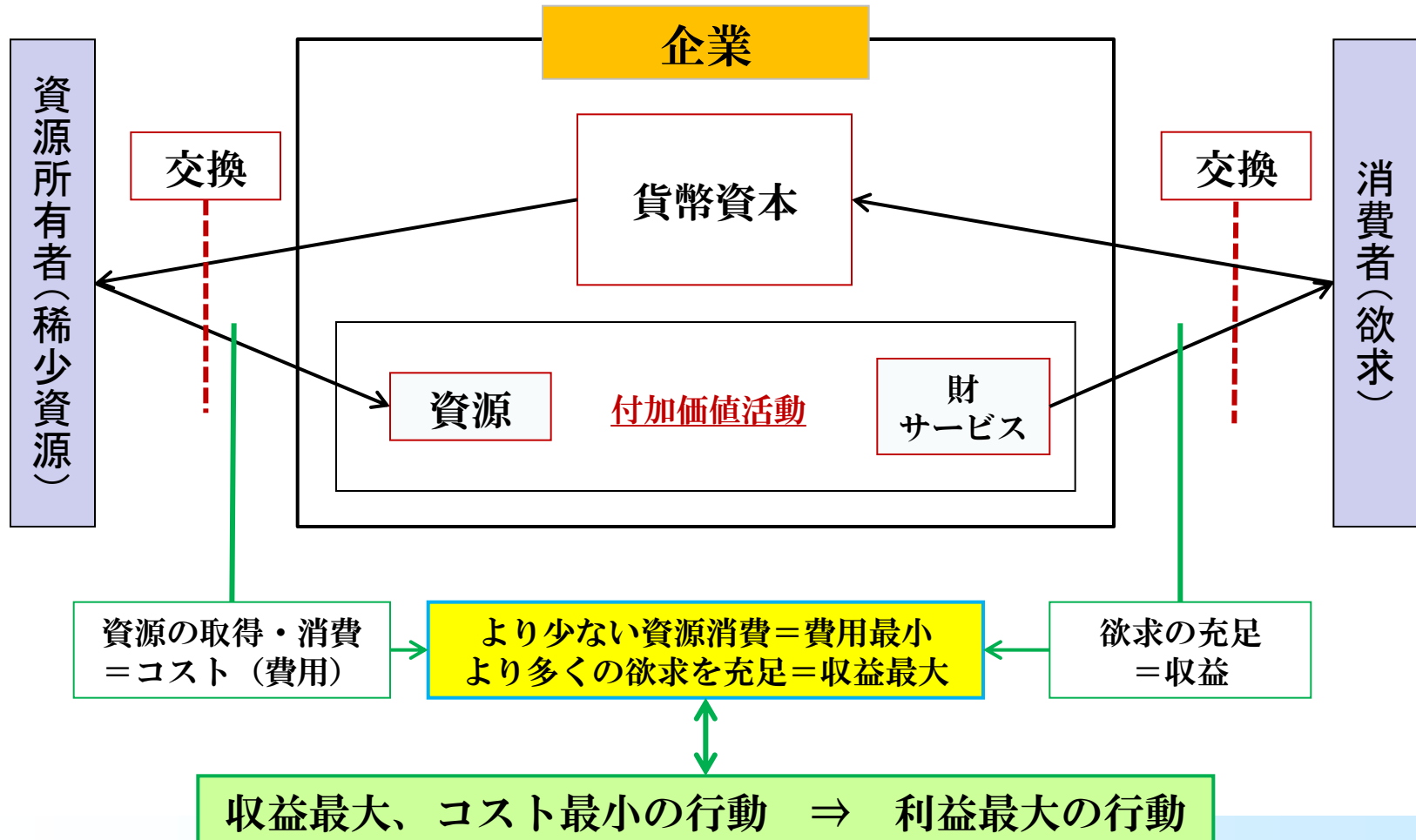
# 市場経済の制度

## —市場参加者の自由競争—



奪い合いでも恣意的な配分でもなく、  
売り手と買い手の対等な交換取引による配分

# 会計による企業活動の見える化



# 利益を測る技術の誕生

- 利益を測る技術としての「複式簿記」
  - いつ ⇒ 遅くとも1400年代に
  - どこで ⇒ 北イタリアで

## 歴史上の証拠

数学者ルカ・パチョーリ(1445-1517)がヴェネツィアで1494年に出版した数学の教科書の中で利益測定技術(複式簿記)を解説

(桜井久勝教授の夢ナビライブ2012講義より)

# 明治における複式簿記の導入

---

- 複式簿記は、明治の文明開化によって、さまざまな文物とともに西洋から日本に導入された。
  - － 日本における西洋式簿記の導入は、
    - 明治6年6月、幕末明治の啓蒙思想家である福澤諭吉が、ブライアントとストラットンの共著書Book-keepingを翻訳して出版したことに始まる。



---

会計なくして経済なし

金融・資本市場における公認会計士の役割

# 金融・資本市場の公正性・透明性の確保

---

- 適正な財務情報の開示について、作成者である企業経営者に一義的な責任があるものの、公認会計士監査の役割はきわめて重大である。

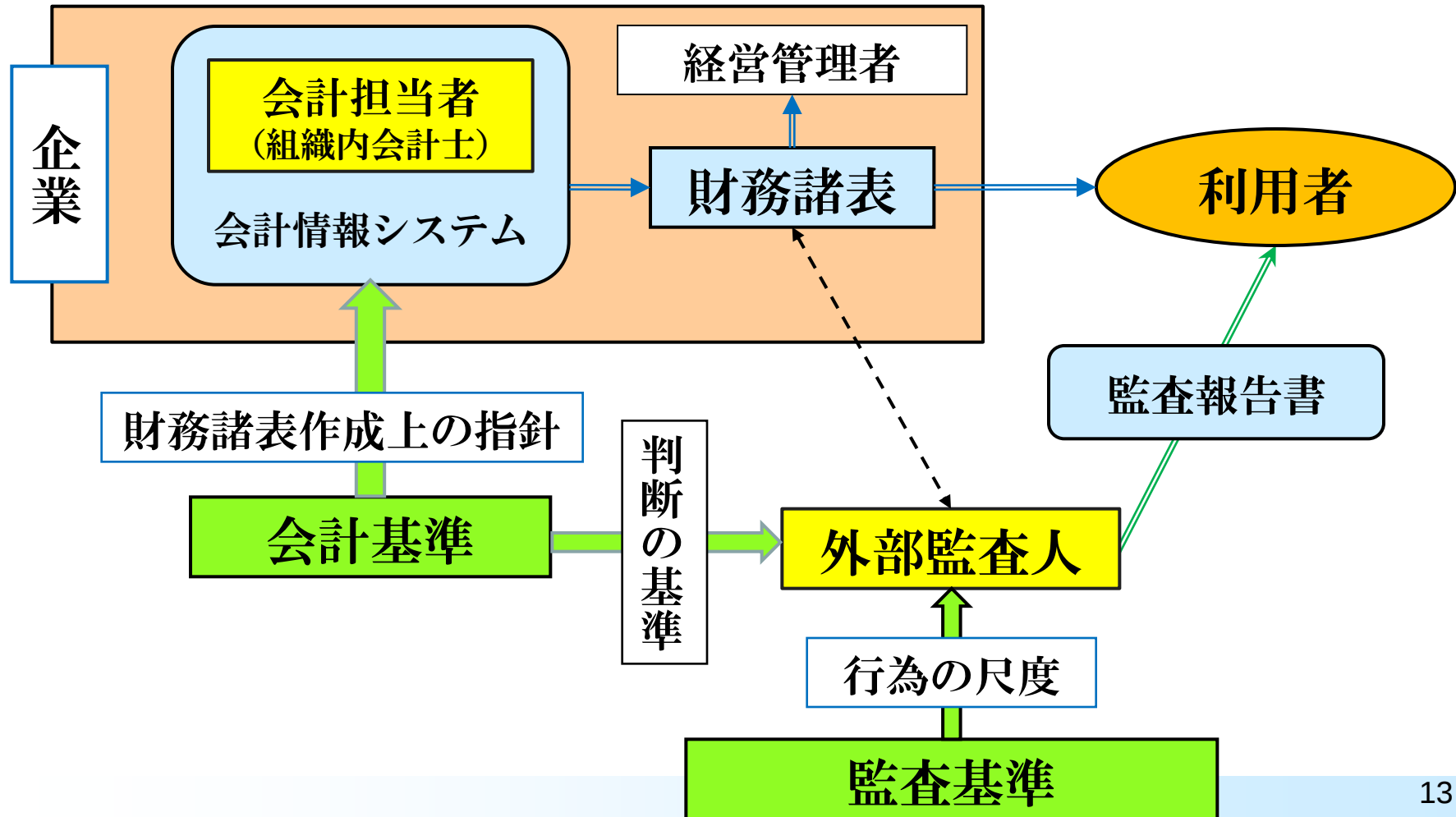
(金融庁長官・細溝清史「企業会計・監査をめぐる最近の動向」会計・監査ジャーナル、2015年4月号、2頁)

# 監査品質の向上と監査監督

- 公認会計士・監査審査会による監査法人に対する近時の検査においては、検査で不備等が発見された場合には、対象法人に有効な改善を促すために、当該不備の発生した監査法人における根本的な原因（root cause）の究明に重点を置いている。
  - － その結果、特に、中小の監査法人において、十分な監査リソースを有しないままに、新規の監査契約を積極的に受嘱することにより監査の品質管理のシステムに重大な不備が生じているなど、ビジネスモデルやガバナンスに根本的な原因があるケースが多く見られており、検査等においては、ビジネスモデル等の把握に努めている。（金融庁長官、前掲論文、3頁）

# 財務情報の信頼性確保のシステム

## ～公認会計士の重要性～



---

会計なくして経済なし  
市場経済は利益至上主義の世界か？

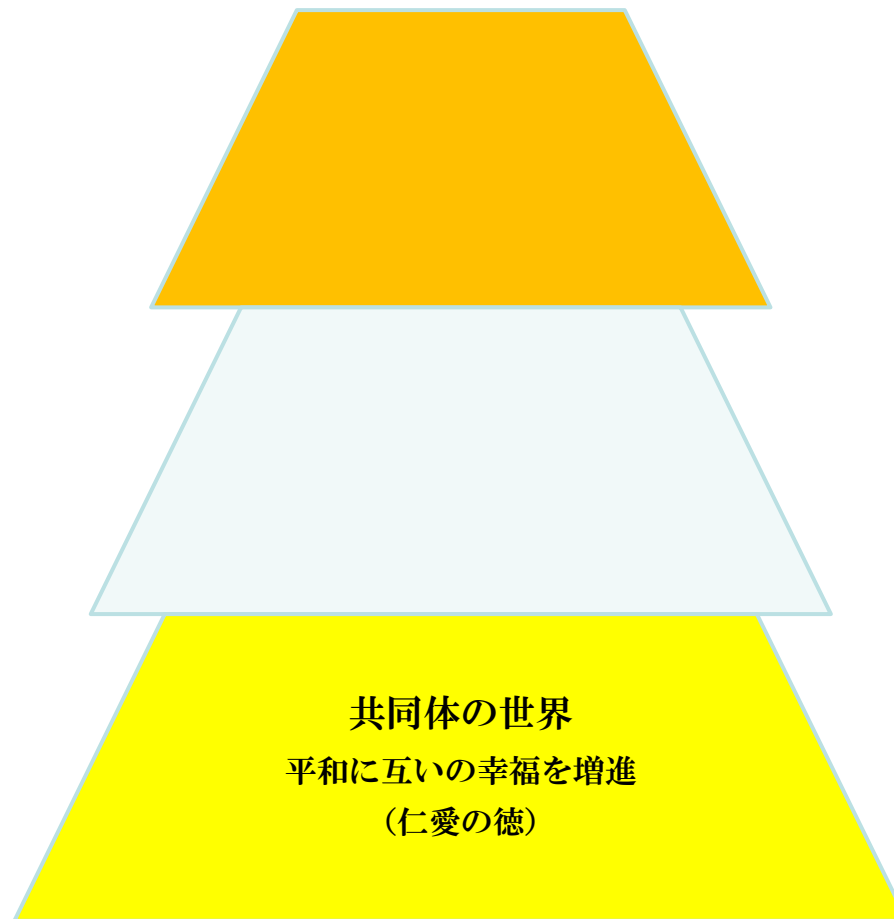
# アダム・スミスが描いた市場経済

- 経済の世界は、「自分自身の境遇を改善せんとする欲望」によって導かれている世界である…利己心というものが経済という世界の原動力である…
- （しかし）スミスによると、この利己心というものは、めいめいが何でも勝手放題なことをしてよろしいというのではなく、そこに一つの社会性がなければならないということになっている。社会的な枠のない、無軌道な、勝手気ままな欲望の追求というものは、人間の行為でもなければモラルでもない。

（高島善哉『アダム・スミス』岩波新書、1968年、76頁）

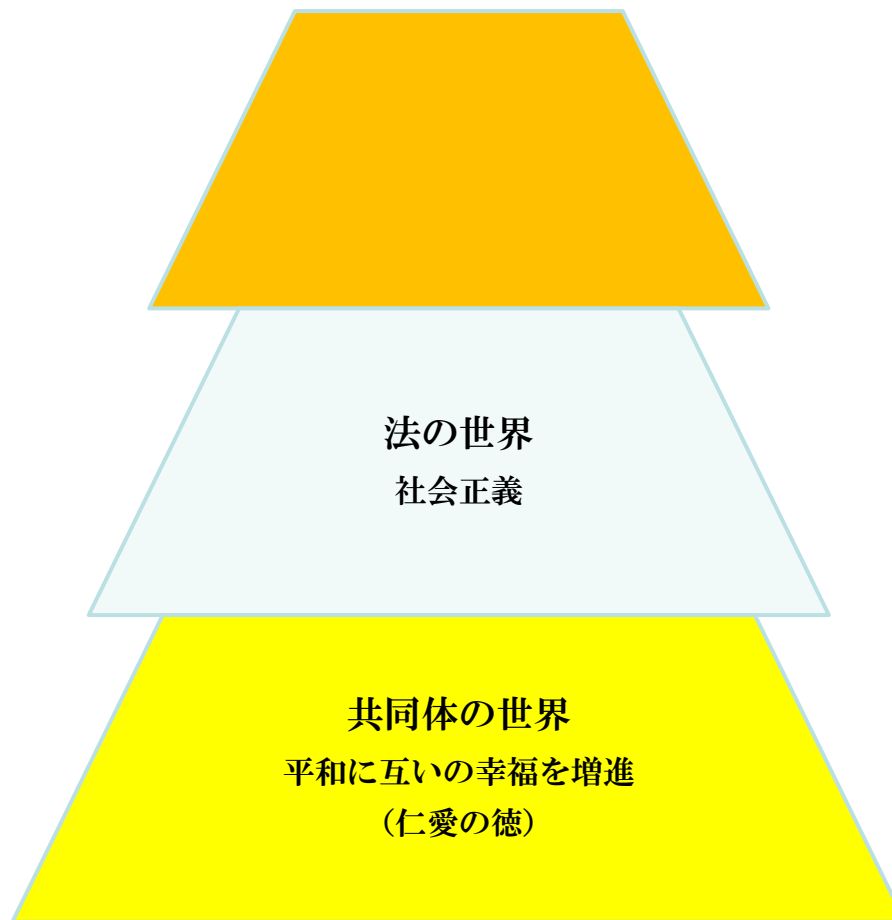
# スミスのモラルの世界

---



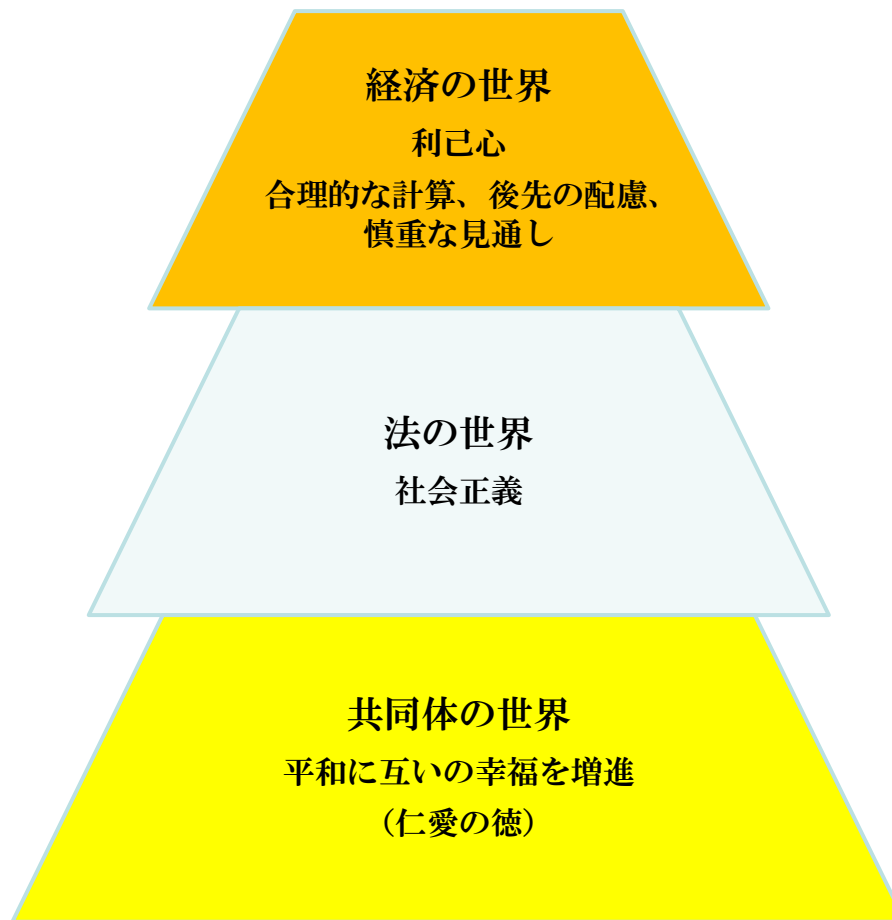
# スミスのモラルの世界（続）

---



# スミスのモラルの世界（続）

---



---

# 会計なくして経済なし

## 超一流企業の経営と会計

# 企業の現実と課題

## ～繰り返される企業不祥事～

---

- （企業不祥事が繰り返される現実...著名な乳業会社のずさんな衛生管理、名門自動車会社によるクレーム情報の隠蔽、更に最近の事例も...）
  - － なぜこのような事件が発生したのか。それにはさまざまな原因があろうが、どちらも名門の企業でありながら、経営者も従業員も、ともに企業の社会的責任を自覚せず、企業倫理感覚を喪失してしまったためであり、この点については社会的に厳しく非難されねばならない。...（続）

## 企業の現実と課題（続）

---

- 企業経営を成功させるには、企業倫理規範を確立し、それを遵守することが大前提である。これは、個人の利益や企業の利益と、社会の利益とが衝突する場合に問題となることが多い。...他方、トップマネジメントは、企業内のすべての人々から、信頼できるデータや公正な意見を受け取らねば、企業を経営できないことも明らかである。したがって、...（続）

## 企業の現実と課題（続）

---

- 会計情報システムに責任をもつ管理会計担当者としても、職業倫理上、何をすべきであり、何をすべきでないか、という倫理規範を確立し、トップマネジメントに対し、良い情報も悪い情報も、正確に提供しなければならない。

（岡本清、他『管理会計』中央経済社、第2版第29刷、  
2015年10月、25頁）

---

# 活躍する公認会計士

## 監査だけでなく経済社会で幅広く活躍

# 公認会計士の活躍領域

